

鶴岡ロータリークラブ会報

834

1975-12-16 No.25

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

◆ 点 鐘

◆ ロータリーソング (それこそロータリー)

◆ ビジターゲスト紹介

◆ 会長報告

◆ インターアクト海外研修派遣助成25万円 (スマイルボックスより)

◆ 去る13日 ローターアクトクラブ3周年記念

◆ 高橋正太郎君 病氣快復、帰鶴の予定

◆ 幹事報告

◆ 次のように変更

八幡RC 12月20日(土) 18時より 一条公民館 登録料 2,000円

天童RC 12月23日(火) 17時より 小関館

小国RC 毎週月曜日 12時30分より レストラン サンライズ

最上RC 12月24日(水) 18時より 喜至楼

余目RC 12月19日(金) 18時より 余目町商工会館

温海RC 12月22日(月) 17時より 温海グランドホテル 登録料 6,000円

◆ 新入会員 鷺田幸雄君の紹介 推せん人 小花盛雄君

◆ 海外研修派遣挨拶(後述)

◆ 会員スピーチ 津田晋介君(後述)

◆ 委員会報告(ローターアクト委員長)

◆ 出席報告

◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

最近の訴訟事件を通じてみた世相

津田晋介君

序 論 3年程前、国が或る事件で敗訴したという報告を受けるや、当時の首相田中角栄氏が

「又あの馬鹿が——」

と発言した。馬鹿とは、その事件の判決をした裁判官を指したのである。

当時衆参両院で絶対多数を擁する自民党の総裁で且党内最大の派閥である田中派の外、第3派閥の大平派、第4派閥の三木派、第5派閥の中曽根派の支持を得て、思うこと成らざるなしのワンマン首相も、裁判だけは意のままにならなかったその憤懣を当の裁判官に投げつけたのが、此の放言である。

最高の権力者でさえも自由には出来ない裁判の権威——司法の独立は、民主主義社会の根幹である。此の判決を下した東京地方裁判所の杉本判事は、左遷もされず依然として現在も健在である。戦前東大教授河合栄治郎氏の著書「時局と自由主義」、「第2学生生活」等が出版法に違反するとして刑事裁判にかけられたとき、軍部の圧力に屈せず、無罪の判決を下した石坂修一判事が東京地裁から神戸地裁姫路支部に左遷されたのと比べると、感慨無きを得ず、司法の独立が確立されて来たことを知ることが出来る。

此の司法の独立は、近代民主主義社会の原則の一である司法の優位の基礎となるものである。

本 論 最近注目を浴びた事件と3つに分けて、これらを通じて感じられたことどもを述べてみたい。

1. 第1は公害訴訟である。これは本来ならば公害を起こさせないように指導監督すべき行政庁、此の場合には通産省の怠慢によって生じたものである。又已むなく公害が発生したならば通産省は、被害者と企業の間立って両者を斡旋し相当額の金員を賠償させるべきであったと思う。それらのどれもしないで放置し、遂に公害訴訟まで発展したのは、日本の恥といわねばならないと思う。
2. 第2に注目すべきは、郵便貯金の目減りの賠償を求めた事件である。物価騰貴のため貯金の価値が減少してしまったことについて貯金者には何らの責任もない。それで減少した分の損害を国に対して求めたのが此の事件である。此のような預貯金の目減りを補償した国（ブラジルかアルゼンチン）もあることを考えるとき、此の事件は国の金融政策を問うものとして注目すべき事件ということが出来る。

併しそれには国の政治的責任を問うだけでは不十分で法律的責任を問わねばならないが、理論構成は容易でないので、将来の課題に属するものと考え。それと似た事件で、大阪で府立の高校に入学出来ず、私立の高校に入学した生徒の父兄が授業料の差額を損害として大阪府に対して賠償を求めた事件がある。これは司法権の拡張を伴う結果となるので、新しい意味を持つ注目すべき事件である。

3. 第3に、大阪空港騒音防止を求めた事件がある。此の事件の第2審で国が全面的に敗れ、午後9時以降の航空機の発着が禁止されたが、これについて評論家の細川某氏が、この判決とした裁判官が停年間際なので、退官後弁護士をすることを予想して住民側を勝たせたのだらう、とテレビの日曜放談で述べているが誠に軽卒な発言であると思う。

裁判官は65歳の停年で退職すれば、十分の退職金と多額の恩給をもらうので弁護士をやって事件の依頼を多く受けよう等と考える人は絶無といってよい。

此の大阪空港事件は、公共の福祉と個人の利益とが正面から衝突したもので極めて難しい事件であり、将来とも文明の発達、社会の進歩と共に激増することが予想される。現に石川県の小松市で自衛隊のファントム戦闘機の発着をめぐって訴訟事件が起っている。公私の調和をどこに求めるかという重大な課題を目ざしてその解決は将来に求められることになるであろう。

海外派遣挨拶

伊藤正之(鶴岡専IC顧問教師)

ただいまご紹介いただきましたように、このたび国際ロータリー第353地区第2回インターアクト米国親善研修旅行として三井先生以下15名のグループで米国に派遣させていただくことになりました。

先ず最初に、このプロジェクトに対しまして、お示し下さいました鶴岡RCの皆様、ならびに353地区のロータリーの方々のご好意とご援助に対し、心から感謝申し上げる次第であります。

今回は第2回でありまして、去る14日の山形における結団式の際にも話題となったのでありますが、「第一回の成果の上に更に実り多い楽しい研修旅行となるよう……」にと語りあった次第であります。

IC活動の2大目標の一つにあげられて居ります。国際理解を現地の人々との生の心のふれあいによって、体験させていただくことは、メンバーの一人一人にとって生涯忘れぬ貴重な体験になるものと考えて居ります。

よく日本を離れて、はじめて日本の良さを知るとも言われますが、私達も日本、ひいては郷土庄内のよさを身をもって知る日も近いものと思われます。

最後に日頃、私どものICに対する皆様のご好意とご援助に対し、改めて感謝申し上げますと共に今後とも変らぬご指導、ご鞭撻くださいますようお願いいたしまして、感謝のことばにかえさせていただきます。

鶴岡ロータリークラブ会員家族新年会

実行委員会

委員長 鈴木 弥一郎
 総務 板垣 俊次
 司会・プログラム ○新穂 光一郎
 受付 ○上林 一郎
 佐藤 昇
 会場 ○佐藤 正郎
 清水 重雄
 皆川 英二
 余興 ○市川 輝雄

○印 委員長

中江 亮
 進藤 誠一
 手塚 林治
 内山 喜一
 山口 篤之助
 菅原 啓
 中野 清吾

昭和50年12月16日

会 員 各 位

鶴岡ロータリークラブ

社会奉仕委員会

委員長 市 川 輝 雄

拜啓 初冬の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、明春1月13日開催の会員家族親睦新年会の席上、当委員会主催による「せり市」を開催いたします。

これは各ご家庭でのご到来物やご不用の品、又は商品など（市価1,500円以上）をご寄贈いただき席上で「せり」にかけ、その金額をクラブ財政逼迫の折柄、社会奉仕活動資金の一助に当てたいと思います。

出来るだけバラエティに富んだ品揃をして昨年以上の楽しいオークションにしたいと存じますので、なにとぞご協力賜わり度くお願い申し上げます。

尚、品物は1月6日迄事務局（鶴岡産業会館2階事務局）にお名前を附記して1人1品以上お届け下さい。

敬 具

出 席 報 告

| | | | |
|-------|---|--------|---|
| 本日の出席 | 会 員 数 71名 出 席 数 57名 出 席 率 80.28% | 欠席者 | 阿部(公)君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、玉城君、風間君、嶺岸君、森田君、斎藤(信)君、佐藤(友)君、佐藤(正)君、手塚君、菅原(啓)君、高橋(正)君、鷺田君 |
| 前回の出席 | 前回出席率 84.29% 修正出席数 63名 確定出席率 90.00% | メークアップ | 皆川君、小松君、横山君一鶴岡西RC 張君一外国 |
| ビジター | 奥村知介君一習志野RC 斎藤繁雄君一村上RC 加賀山隆士君、阿宗健一郎君、羽根田正吉君一鶴岡西RC | | |